

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書  
～株式会社アイカ～

2022 年 8 月 8 日

株式会社百五銀行

法人コンサルティング部

## 1. はじめに

百五銀行は、株式会社日本格付研究所の協力を得て、国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブ・インパクト金融原則」に則り、株式会社アイカ（以下、アイカという。）の包括的なインパクト分析を行った。

百五銀行は、本評価書で特定されたポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの緩和に向けた取り組みを支援するため、アイカに対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、本ファイナンスという。）を実行する。

### ➤ 今回実行する本ファイナンスの概要

|          |                                |
|----------|--------------------------------|
| 契約期間     | 2022 年 8 月 8 日～2027 年 7 月 31 日 |
| 金額       | 100,000,000 円                  |
| 資金使途     | 運転資金                           |
| モニタリング期間 | 5 年間                           |

## 2. アイカ及び関連会社の企業概要

(2022 年 8 月 8 日現在)

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企業名  | 株式会社アイカ                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 所在地  | 愛知県名古屋市西区木前町 35 番地                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 従業員数 | 293 名（男性：230 名、女性：63 名）                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 資本金  | 30 百万円                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 事業所  | 名古屋本社、東京本社、大阪支社、北陸営業所                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 工場   | 本社工場、Dream 工場、東京工場                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 事業内容 | 印刷業（商業印刷／オフセット印刷）                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 沿革   | 1962 年 創業<br>1976 年 法人設立<br>2000 年 本社工場が東海豪雨災害に見舞われる<br>2003 年 BCP 対策・生産設備分散のため、小牧に新工場「Dream」建設<br>2006 年 グリーンプリンティング工場認定取得<br>2007 年 FSC 認証、プライバシーマーク取得<br>2012 年 印刷産業環境優良工場表彰<br>「社団法人 日本印刷産業連合会 会長賞」受賞<br>2013 年 印刷産業環境優良工場表彰<br>「経済産業省商務情報政策局長賞」受賞<br>2018 年 健康経営優良法人 2018 認定取得 |

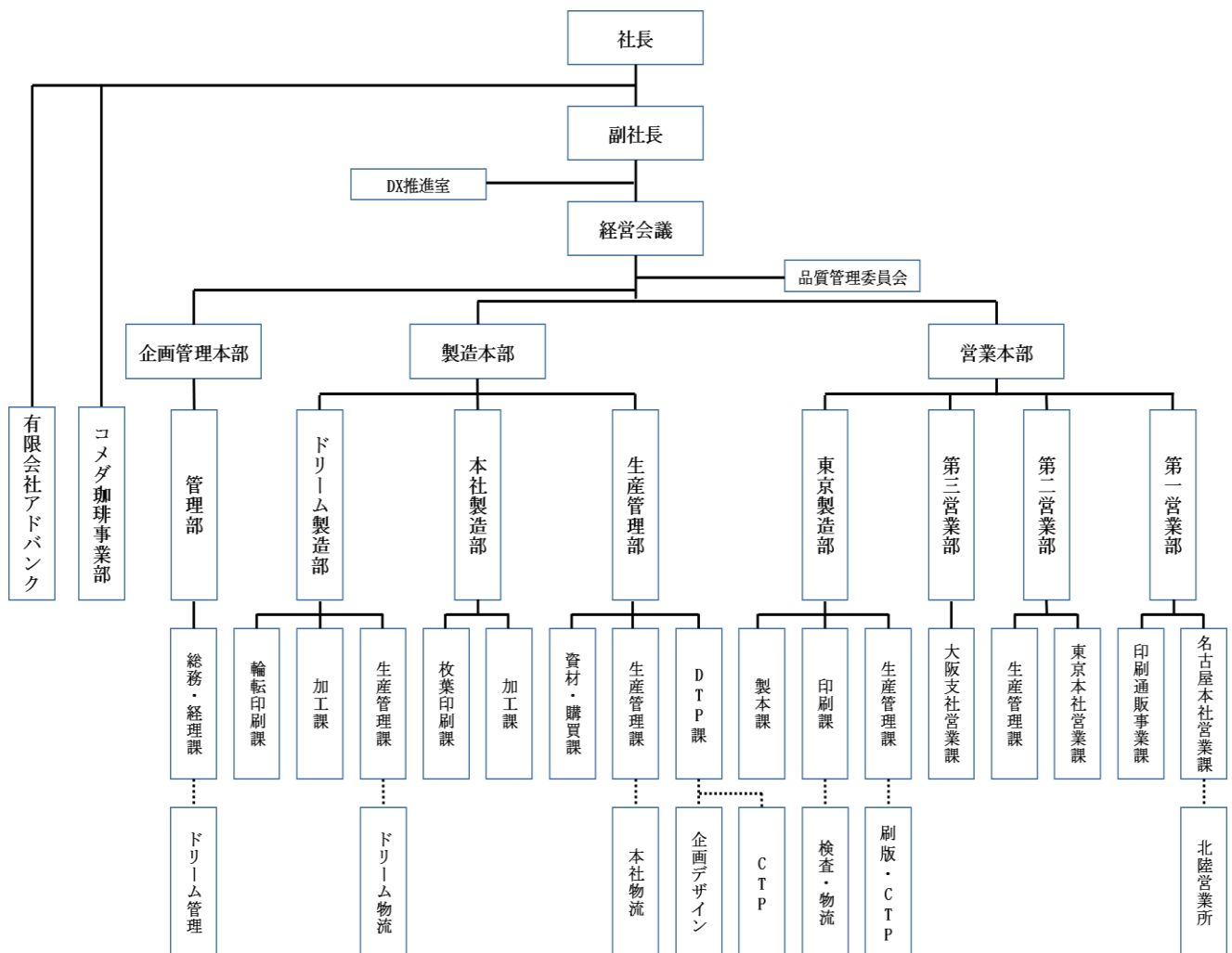
(2022 年 8 月 8 日現在)

|      |                                           |
|------|-------------------------------------------|
| 企業名  | 株式会社パマック                                  |
| 所在地  | 愛知県名古屋市西区山木 1 丁目 200 番地                   |
| 資本金  | 10 百万円                                    |
| 事業内容 | インキの卸売／飲食店（コメダ珈琲店）5 店舗のフランチャイズ経営          |
| 沿革   | 1987 年 法人設立<br>2013 年 コメダ珈琲店のフランチャイズ経営を開始 |

(2022 年 8 月 8 日現在)

|      |                        |
|------|------------------------|
| 企業名  | 有限会社アドバンク              |
| 所在地  | 京都府京都市南区吉祥院嶋野間詰町 52 番地 |
| 資本金  | 3 百万円                  |
| 事業内容 | 印刷業                    |
| 沿革   | 1999 年 法人設立            |

➤ 組織図



### 3. アイカの事業活動

#### ➤ 印刷会社のための印刷会社

アイカは、パンフレット、ポスター、チラシ、カタログといった印刷物を取り扱う印刷業者である。アイカの顧客の大半は中小規模の印刷会社や広告会社であり、「印刷会社のための印刷会社」を企業コンセプトとして掲げている。名古屋市西区の本社工場、小牧市の Dream 工場及び東京工場の3工場を製造拠点とし、大ロット・多品種・短納期・高品質といった多様化する印刷ニーズに柔軟に対応することで、東海地方を中心に全国各地に数多くの取引先を有している。

一般的に印刷工場の製造工程は、印刷前工程（プリプレス）、印刷工程（プレス）、印刷後工程（ポストプレス）の3段階に分かれているが、アイカでは、印刷前工程においてデザイン業務を担える営業員を配置し、印刷後工程においては製本・加工機械を導入することにより、3工程全てに対応できる製造ラインを構築し、受注から出荷まで一気通貫の対応を可能としている。

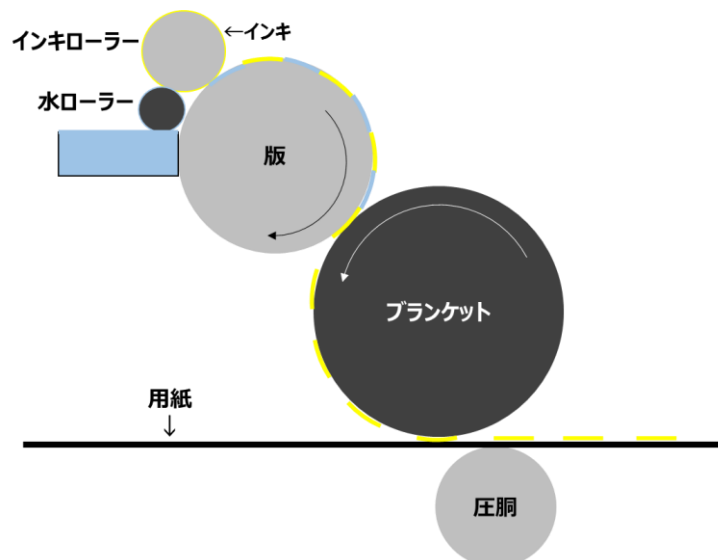
#### ➤ アイカにおける業務フロー

##### ＜印刷前工程＞

アイカの営業担当者と取引先が企画内容、デザイン、用途等に関する打ち合わせを行い、印刷物のベースとなる原稿を作成する。原稿データの入稿や編集、校正作業はWEBを活用し、効率的に実施している。併せて、用紙の種類と量を決めて発注する。

##### ＜印刷工程＞

主にオフセット印刷方式を採用している。オフセット印刷では、受け取った原稿データをまずアルミニウムの「版」に焼き付けて出力し、一度「版」にのせたインキを「ブランケット」と呼ばれるローラーに転写し（off）、その後、用紙に移す（set）ことによって印刷する。

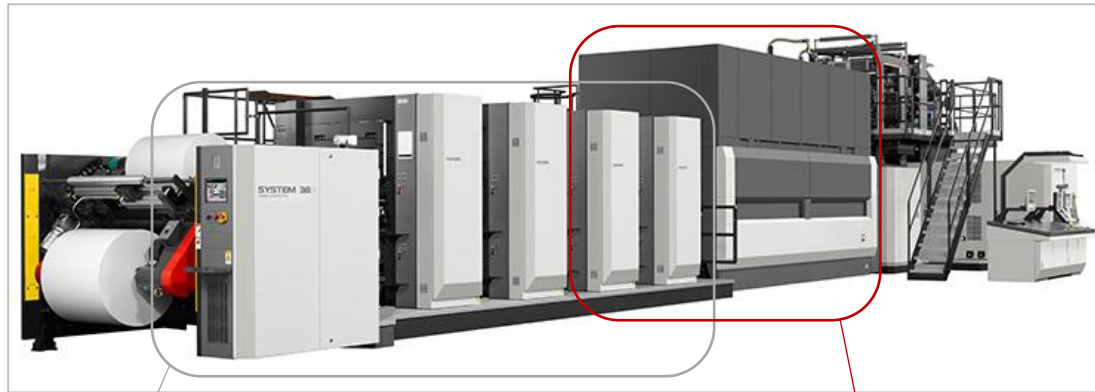


上記の断面図の通り、「版」が直接用紙に触れないため、「版」の摩耗が起こりにくく、高品質の印刷を安定して長く持続することができ、大量印刷に適している印刷方式となっている。

インキはシアン・マゼンタ・イエロー・ブラックの4色を使用し、各色を組み合わせることで無数の色を表現することができる。

使用する印刷機は、輪転印刷機と枚葉印刷機の2種類に大別される。

輪転印刷機は、ロール状の用紙をセットし、高速でインキを転写する印刷機であり、チラシやフリーペーパーといった大部数の印刷物に向いている。インキをすぐに乾かす「強制乾燥」を行うことから、短納期の対応が可能となっている。



輪転印刷機



印刷ユニット部（4色のインキ毎にユニットが分かれている）



乾燥部（高熱のガスで強制乾燥を行う）

枚葉印刷機は、規格サイズに断裁された用紙を一枚ずつ印刷するもので、品質が重視されるカタログやポスター等に使用されることが多い。

アイカでは、Dream工場に輪転印刷機を6機、本社工場と東京工場に枚葉印刷機を12機保有している。合計18機の印刷機によるアイカの一日のあたりの生産能力は約1,000万枚を誇る。

#### <印刷後工程>

印刷したものを取引先の要望に応じた断裁、折り、綴じの製本・加工を行う。品質・数量のチェック後に梱包し、チャーター便等を使用して全国の取引先に納品される。

なお、印刷物は顧客の経営情報や公開前情報といった機密性の高い情報が含まれている場合があるため、アイカでは全行程で徹底した情報管理を行っており、個人情報を適切に取り扱っている企業としてプライバシーマークを取得する等、顧客への安心感の提供にも努めている。

➤ 高い製造技術

アイカは、「他社が保有していない設備をいち早く導入し、顧客の要望に応える」という創業者の経営方針に倣って、他社とは一線を画す独自性の高い設備投資を継続することで業容拡大を図ってきた歴史がある。

特に 2003 年に完成した Dream 工場では、印刷前工程から印刷後工程までの各工程で使用する設備を 1 つの工場に集約し、本社から原稿データを受け取った後は、出荷までワンストップで対応できる体制を実現させた。輪転印刷機による大量高速印刷に加え、稼働率を向上させるため 360 日昼夜交代制による 24 時間稼働も導入した結果、東海エリアでも有数の生産能力を誇るに至っている。

Dream 工場は、近年においても、資材や印刷環境の変化に合わせてデータを最適化する高精度プリセット機能を備えた最新型輪転印刷機を導入。印刷準備時間の短縮及び損紙の削減に威力を発揮している。印刷後工程においては、無線綴機、中綴機、折機及び断裁機を取り揃え、多彩な綴じ・折り加工に対応が可能である。



Dream 工場の外観

また、人材育成にも注力しており、各機械を取り扱うオペレーターの能力開発を積極的に行っている。若手従業員に対しては、機械の作動から停止までの操作方法や故障時のメンテナンス等のオペレーションを先輩従業員による OJT 方式で指導している。また、中堅従業員向けに自身で対応可能なメンテナンス領域を拡大させる目的で、大手印刷機械メーカーでの研修機会を設けている。

充実した設備と熟練した人材の相乗により積み重ねられた、顧客ニーズに幅広く対応できる高い製造技術こそがアイカの強みであり、結果「印刷会社のかゆい所に手が届く提案・サービス」を可能とし、他社との差別化につながっている。



➤ 経営理念

経営理念に「おもてなしの心 アイカは印刷を通して業界に貢献し、全社員の物心両面の幸福を追求します」を掲げており、取引先と従業員を大切にする経営方針が示されている。

また、取引先に対するアイカの姿勢をより明確化するために品質方針も制定している。

おもてなしの心

アイカは印刷を通して業界に貢献し、  
全社員の物心両面の幸福を追求します。

| 品質方針                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 常に最高の品質を目指します。<br>常にスピードを意識し行動します。<br>常にコスト削減に努めます。<br>常に自分の限界に挑戦します。<br>私たちはこれらを共有し、継続します。 |

➤ アイカの SDGs 宣言

アイカは SDGs への取組みを重要な経営戦略と捉え、2021 年 9 月に SDGs 宣言を制定した。

今後は、従業員の意識改革及びエンゲージメントの向上を通じて、企業と従業員のベクトルを合わせて、ものづくり・環境対策・人権（健康・働きがい）という 3 つの重点課題を中心に、SDGs の達成に向けた取組みを加速させていく方針である。

| 重点課題                                                                                           | 主な取り組み                                                                                                                                                            | SDGs                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>ものづくり</b><br><b>（高品質・高付加価値）</b><br>品質の継続的な改善を図り、お客様に満足していただくサービスをご提供致します。                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プライバシーマーク取得</li> <li>・ Web入稿・校正システムによる効率化</li> <li>・ 24時間稼働の短納期対応</li> <li>・ 万全なサポート体制を整えた印刷通販事業「良安」</li> </ul>          | <div>9 産業と資源効率の改善を通じて廃棄物を減らす</div> <div>12 つくばる責任 つかう責任</div> <div>16 平和と公正をすべての人に</div>                                                                          |
| <b>環境対策</b><br>常に環境に配慮した事業活動を実践し、気候変動対策へ貢献致します。                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FSC認証製品の販売促進による森林保護</li> <li>・ 環境に配慮した印刷の総合認定制度「グリーンプリンティング工場」認定</li> <li>・ 太陽光発電設備の設置</li> <li>・ 廃棄物を分別し再資源化</li> </ul> | <div>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</div> <div>11 住み続けられるまちづくりを</div> <div>12 つくばる責任 つかう責任</div> <div>13 気候変動に具体的な対策を</div> <div>14 海の豊かさを守ろう</div> <div>15 陸の豊かさも守ろう</div> |
| <b>人権(健康・働きがい)</b><br>未来に向けて夢を持ち続け、それぞれの夢を実現できる職場環境づくりを行います。また、健康経営を推進し、社員が笑顔で働き続けられる会社を目指します。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康経営優良法人2021認定</li> <li>・ ストレスチェックの実施、メンタルヘルス不調者への対応</li> <li>・ 外国人技能実習生の受け入れ</li> </ul>                                 | <div>3 すべての人に健康と福祉を</div> <div>4 質の高い教育をみんなに</div> <div>5 ジェンダー平等を実現しよう</div> <div>8 働きがいも 経済成長も</div> <div>10 平等と包摂をすべての人に</div>                                 |

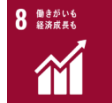


#### 4. 本ファイナンスの実行にあたり特定したインパクトと設定した KPI（重要目標達成指標）

百五銀行は、UNEP FI のインパクト分析ツールを用いて包括的インパクト分析を行い、下表の通り業種別インパクトを特定した。そのうち、「文化・伝統」については、有形文化財等の保全は行っていないことから、アイカにおいて大きなインパクトを有する領域ではないと判断し、本インパクトの特定及び KPI の設定対象から外すこととする。

|                       |   |   | ポジティブ | ネガティブ |                      |  |   | ポジティブ | ネガティブ |
|-----------------------|---|---|-------|-------|----------------------|--|---|-------|-------|
| 入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質 |   |   |       |       | 質（物理的・科学的構成・性質）の有効利用 |  |   |       |       |
| 水                     |   |   |       |       | 水                    |  |   | ✓     |       |
| 食糧                    |   |   |       |       | 大気                   |  |   | ✓     |       |
| 住居                    |   |   |       |       | 土壌                   |  |   |       |       |
| 健康・衛生                 | ✓ |   |       |       | 生物多様性・生態系サービス        |  |   |       |       |
| 教育                    | ✓ |   |       |       | 資源効率・安全性             |  |   | ✓     |       |
| 雇用                    | ✓ | ✓ |       |       | 気候                   |  |   | ✓     |       |
| エネルギー                 |   |   |       |       | 廃棄物                  |  |   | ✓     |       |
| 移動手段（モビリティ）           |   |   |       |       | 人と社会のための経済的価値創造      |  |   |       |       |
| 情報                    |   |   |       |       | 包括的で健全な経済            |  | ✓ |       |       |
| 文化・伝統                 | ✓ |   |       |       | 経済収れん                |  |   |       |       |
| 人格と人の安全保障             |   |   |       |       |                      |  |   |       |       |
| 正義・公正                 |   |   |       |       |                      |  |   |       |       |
| 強固な制度、平和、安定           |   |   |       |       |                      |  |   |       |       |

#### ➤ ポジティブインパクトの拡大

|    | 取組内容                                                                                          | KPI                                                                                             | インパクトレーダー         | SDGs                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社会 | <u>従業員の働きやすい職場環境の整備</u><br>・従業員の健康促進を目的とした充実した福利厚生制度、休暇制度の導入。<br>・女性向け健康セミナーの開催等を通じた、女性活躍の推進。 | ①2030 年までに、女性管理職の人数を 5 名以上にする。<br>（2022 年 8 月時点 1 名）<br>②2030 年までに、育児休暇取得対象者の育児休暇取得率 100%を達成する。 | 健康・衛生<br>教育<br>雇用 | <br><br> |
| 経済 | <u>大ロットかつ短納期のサービス提供</u><br>・一貫生産体制の構築、Dream 工場の 24 時間稼働による大ロットかつ短納期のサービスを自社通販サイトで簡便に受注できる。    | —                                                                                               | 包括的で<br>健全な経済     |                                                                                                                                                                                    |

➤ ネガティブインパクトの緩和

|    | 取組内容                                                                                                                                                                                                                                                                         | KPI                                                                                       | インパクト<br>レーダー                                              | SDGs                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境 | <p><u>環境に配慮した印刷プロセスの採用と環境製品の展開</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本社工場及び Dream 工場におけるグリーンプリンティング工場認定（GP 工場認定）の取得。</li> <li>・FSC ミックス認証紙を使用した環境製品の展開。</li> <li>・廃液を出さない無処理版の導入。</li> <li>・LED や省エネ設備の導入。</li> <li>・太陽光発電設備の導入。</li> <li>・適切な廃棄物処理の徹底。</li> </ul> | <p>③2027 年までに、無処理版の導入率 100%を達成する。</p> <p>④2030 年度における自社の温室効果ガスの排出量を 2022 年度比 24%削減する。</p> | <p>エネルギー<br/>水<br/>大気<br/>資源効率・<br/>安全性<br/>気候<br/>廃棄物</p> |      |
| 社会 | <p><u>労働安全衛生の徹底</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全パトロール点検の実施及び安全衛生委員会の開催。</li> <li>・メンタルヘルスチェックの実施。</li> <li>・労働時間や休暇取得の管理等の労働環境の整備。</li> </ul>                                                                                                              | <p>⑤毎年度、労働基準法が定める時間外労働の上限規制を超過する違反の発生件数をゼロとする。</p>                                        | <p>健康・衛生<br/>雇用</p>                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

## (1) 従業員の働きやすい職場環境の整備

- インパクトの種別  
ポジティブインパクトの拡大
- カテゴリー  
社会
- UNEP FI が公表しているインパクトレーダーとの関連性  
健康・衛生、教育、雇用
- SDGs との関連性
  - 3.4 2030 年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて 3 分の 1 減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
  - 4.4 2030 年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
  - 5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

### ➤ アイカの取組内容

アイカは、従業員の健康促進及び女性の活躍推進に力を入れている。

従業員の健康促進は、「心身ともに健康に生活を送ることが、従業員の活力向上やワークライフバランスの実現、ひいては家族の幸せにつながる。」という経営陣の考えに基づいたもので、具体的施策として、従業員に対する禁煙推進やスポーツジムの法人契約による運動機会の提供を行っている。以前は全従業員の約 2 割が喫煙者であったが、卒煙チームを発足させ、ポスターの掲示や喫煙者に対する卒煙サポートを行い、2020 年 4 月に従業員の喫煙者ゼロを達成した。

福利厚生についても様々な制度を用意しており、全従業員を対象にインフルエンザの予防接種費用を全額会社負担としている他、35 歳以上の従業員に対し、健康診断時のバリウムや血液検査の必要費用も負担している。

また、休暇制度の充実にも積極的に取り組んでおり、誕生月の前後 1 ヶ月の間に取得することができるバースデー休暇や産育休、介護、看護休暇等の制度を設けている。

過去、2018 年から 2021 年にかけて健康経営優良法人の認定を取得しており、今後も従業員の働きがい向上のため、健康に配慮した職場環境の整備に取り組んでいく方針である。将来的には、健康経営優良法人の中小規模法人部門における上位 500 法人が表彰される「ブライト 500」の取得を目指す計画を持っている。

女性の活躍推進については、女性向け健康セミナーの開催、産育休制度及び乳がん検診費用の半額負担等により、安心して働き続けられる環境作りに努めている他、女性従業員の要望を集約し、和式トイレを洋式へと変更し消音機も設置する改修を進めており、ハード面の整備も行っている。アイカは、今後女性従業員の数を増加させていきたいと考えている。

女性管理職についても、現在の全管理職 30 名のうち 1 名であるが、今後性別を問わない多様な意見やアイデアを経営戦略に取り入れていくために、2030 年までに女性管理職を 5 名以上任用することを目指している。

- KPI について（文中の丸付き数字は、KPI の通し番号を指す。次号以降、同様。）

百五銀行は、ポジティブインパクトの拡大を支援するため、①2030 年までに、女性管理職の人数を 5 名以上にすること、②2030 年までに、育児休暇取得対象者の育児休暇取得率 100%を達成することを KPI に設定し、モニタリングしていく。

## (2) 大ロットかつ短納期のサービス提供

- インパクトの種別  
ポジティブインパクトの拡大
- カテゴリー  
経済
- UNEP FI が公表しているインパクトレーダーとの関連性  
包括的で健全な経済
- SDGs との関連性  
8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。

### ➤ アイカの取組内容

アイカは、2013 年より、自社の営業担当者が訪問できない地域からの印刷受注にも対応すべくインターネットで簡単に注文できる印刷通販事業を展開している。

「良い・安心」をモットーにした自社サイト「良安」では、発注者はサイズ・部数を指定し、希望するデザインデータを送るのみという手軽さで発注可能な仕組みとなっている。新聞の折り込みチラシからハガキ、名刺や選挙ポスターまで幅広いラインナップを取り揃えており、折り込みチラシは B4 輪転サイズであれば最短 2 日後に 1 百万枚を製造・出荷することが可能である。

一貫生産体制の構築及び Dream 工場の 24 時間稼働による高い生産能力に加え、簡便に発注できる通販サイトの運営により、特に繁忙期において、他社では対応できないような大ロットかつ短納期の受注であってもアイカでは引き受けてもらえると、中小零細規模の印刷会社や広告会社から好評を博している。

このような付加価値の高いサービスは、UNEP FI が公表しているインパクトレーダーとの関連性において、社会・経済に付加価値をもたらす持続可能で多様かつ革新的な市場の創出を意味する「包括的で健全な経済」に貢献している。



通販サイト「良安」

### (3) 環境に配慮した印刷プロセスの採用と環境製品の展開

- インパクトの種別  
ネガティブインパクトの緩和
- カテゴリー  
環境
- UNEP FI が公表しているインパクトレーダーとの関連性  
エネルギー、水、大気、資源効率・安全性、気候、廃棄物
- SDGs との関連性
  - 6.3 2030 年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。
  - 7.3 2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
  - 12.5 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
  - 13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。
  - 15.2 2020 年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。

#### ➤ アイカの実践内容

アイカの実践で特筆されるのが、印刷業界において、いち早く環境に配慮した事業展開を行っている点にある。代表例が、グリーンプリンティング（以下、GP という。）工場認定の取得である。

GP 認定制度は、一般社団法人日本印刷産業連合会（以下、日印産連という。）が認定機関となり、日印産連が定めた「グリーン基準」に基づく環境認定制度のことで、認定を受けると GP マークを表示することができる。印刷工場・資機材・印刷製品の 3 分野の認定制度で成り立っており、印刷工場のオフセット印刷部門の審査では、70 項目に及ぶ基準をクリアする必要がある。具体的には VOC 等の有害物質の削減、省資源・省エネルギー、物質循環・生物多様性の保全、取り組みの継続性・改善性といった総合的な環境対応が求められる内容となっている。



GP 工場認定制度が寄与する SDGs<sup>1</sup>

アイカは、制度が開始された 2006 年に本社工場及び Dream 工場において愛知県で初めてとなる

<sup>1</sup> 制度概要 | 一般社団法人日本印刷産業連合会 グリーンプリンティング認定事務局 ([jpi.or.jp](http://jpi.or.jp))



GP 認定工場の認定を取得し、以降もその認定を継続している。

印刷物に GP マークを表示することで、アイカの取引先にとっては、自社が環境保全に配慮していることを外部にアピールすることが可能となる。取引先にこのような付加価値を提供することは、「印刷を通して業界に貢献する」というアイカの経営理念を体現していることに加え、事業を通して社会課題を解決するという SDGs の概念にも共通するビジネスモデルといえる。

また、2007 年には、持続可能な森林管理のもとで作られた製品を認証する FSC 認証制度において、製品を適切に管理・加工していることの認証（CoC 認証）を取得。環境に配慮した「FSC ミックス認証紙」を取り扱うことが可能となっている。こちらもアイカの取引先が環境配慮に力を入れているという対外 PR に活用できる商材である。

こうした環境製品の取扱実績、ホームページや環境報告書での情報公開の取組みが評価され、日印産連による印刷産業環境優良工場表彰において、2012 年に「社団法人日本印刷産業連合会会長賞」、2013 年に「経済産業省商務情報政策局長賞」を受賞している。

近年における環境への取組みとしては、本社工場及び Dream 工場において、印刷工程の前に「版」の現像処理を必要としない無処理版を導入していることが挙げられる。



無処理版で使用する「版」

従来の有処理版では、画像を焼き付けた後に、現像機で「版」のインキがのらない部分を薬品で落とす工程が必要であったが、無処理版では現像機は使わず、印刷機上で現像を行う。現像液の使用が不要となることで廃液を出さずに済むこと、また現像機を稼働させる電力が要らなくなることから、無処理版への移行による環境負荷軽減効果は非常に大きい。

今後は残る製造拠点である東京工場への導入を検討しており、近い将来、有処理版を撤廃し、アイカ全社で無処理版の導入率を 100%とすることを目指している。

その他、工場及び事務所内における照明は全て蛍光灯から LED に切り替え済みで、コピー機や空調設備等の機器を省エネタイプに切り替えることで、エネルギーの効率的な利用に努めている。



2013年にはDream工場の屋根上に太陽光発電システムを導入。年間平均470千kwhを発電しており、これにより年間約203トン-CO2の二酸化炭素の排出を削減していると試算される。



Dream 工場の太陽光発電システム

また、廃棄物処理についても厳格な管理を行っている。工場で排出される廃棄物は、紙、アルミニウム、溶材が主であるが、廃棄物の種別毎に保管場所や回収方法を定めた廃棄物分別ガイドラインに沿って、適切な保管・処理・産業廃棄物回収業者への引き渡しを行っている。

➤ KPI について

百五銀行は、特定したインパクトを計測する定量的な指標として、③無処理版の導入率についてモニタリングしていく。

また、早くから環境経営を実践してきたアイカは、脱炭素社会の実現に向けて、自社の温室効果ガス排出量の削減に更に積極的に取り組んでいく方針である。2022年度より排出量の算定を開始する予定であり、④自社の温室効果ガスの排出量についてもモニタリングを行っていく。

#### (4) 労働安全衛生の徹底

- インパクトの種別  
ネガティブインパクトの緩和
- カテゴリー  
社会
- UNEP FI が公表しているインパクトレーダーとの関連性  
雇用、健康・衛生
- SDGs との関連性  
3. d すべての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。

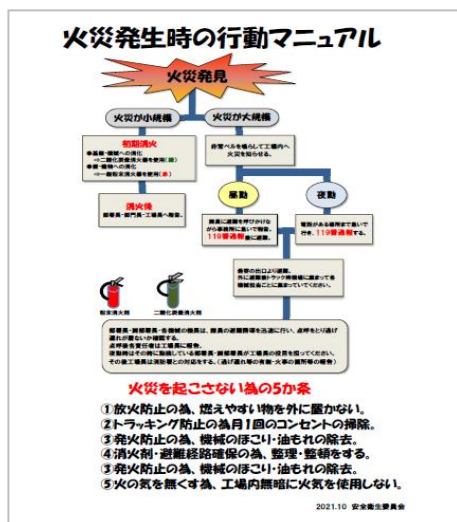
#### ➤ アイカの取組内容

アイカは、労働安全衛生の徹底により、従業員が安全に働ける環境作りに努めている。

工場内においては、安全パトロール点検を週に1度実施し、各機械に対する整理整頓・清掃状況や通路での資材の積み方等の現況を確認している。また、安全衛生委員会を月に1度開催し、課題のあぶり出しから解決までの話し合い、従業員の休暇取得状況や健康状況の共有等を行っている。万が一の火災や災害の発生時における避難経路や行動マニュアルについても安全衛生委員会が策定し、定期的に見直しを行っている。

年に一度の健康診断時（夜勤者は年に2回）に医師や保健師によるメンタルヘルスチェックも実施しており、従業員の心身の変化を素早く察知できる体制を整えている。

各工場では空調が完備され、製品が風で飛ばされることを避けるため空調を強く効かせられない工程では夏場にスポットクーラーを配備する等、現場の労働環境への配慮もしっかりとされている。



火災発生時の行動マニュアル



工場内のスポットクーラー

また、Dream 工場においては 24 時間稼働となっていることもあり、百五銀行はアイカ従業員の勤務時間及び休暇取得状況に関するデータの確認を行った。結果、繁忙期にはアルバイトを活用する等の効率的な人員配置やローテーションの実施により、法令に違反するような過度な労働を強いられている従業員は一人もいないことを確認した。

アイカとしては、引き続き、従業員の労働安全衛生には十分注意を払って管理していく方針である。

➤ KPI について

百五銀行は、アイカの社会面のネガティブインパクトの緩和について、⑤毎年度、労働基準法が定める時間外労働の上限規制を超過する違反の発生がないことをモニタリングにおいて確認していく。

## 5. インパクト管理体制

アイカでは、2022年2月に実施した組織再編により、副社長直轄の新部署「DX推進室」を立ち上げた。同室が旗振り役を担う形で、アイカ社内におけるSDGsの推進や認知度向上に着手している。

また、2022年6月には、より本格的な社内認知活動及び具体的なアクションを策定していくことを目的に、副社長を会長とする「SDGs委員会」を設立した。SDGs委員会は、各部署から立場、性別、年齢の異なる多様なメンバーが組織横断的に集結し、構成されている。

今後SDGs委員会は、DX推進室と連携しながら、加速度的に社内のSDGs取組みレベルを上げるとともに、本ファイナンスにおいて特定された各インパクトの進捗管理を行っていく。

- 最高責任者 副社長 執行役員 大橋宏治
- 担当部署 SDGs委員会

## 6. モニタリング方法

本ファイナンスを実行するにあたり設定したKPIについては、百五銀行とアイカが少なくとも年に1度の頻度で話し合う場を設け、その達成状況及び進捗状況について共有する。

百五銀行は、自行が持つノウハウやネットワークを活用し、アイカのKPIの達成を都度サポートしていく予定である。

モニタリング期間中に一度達成したKPIについては、その後も達成水準を維持していることを確認する。なお、アイカの事業環境の変化等により設定したKPIが実情にそぐわなくなった場合は、百五銀行とアイカが協議し、再設定を検討するものとする。

以 上

### 注意事項・免責事項

1. 本評価書は、百五銀行がアイカから提供された情報に基づき、評価・作成したものであり、当該情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。
2. 百五銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について一切責任を負いません。

- 本件に関するお問い合わせ先  
株式会社百五銀行  
法人コンサルティング部 担当 中尾・新保  
〒514-8667 津市丸之内 31 番 21 号  
TEL (059) 223-2382